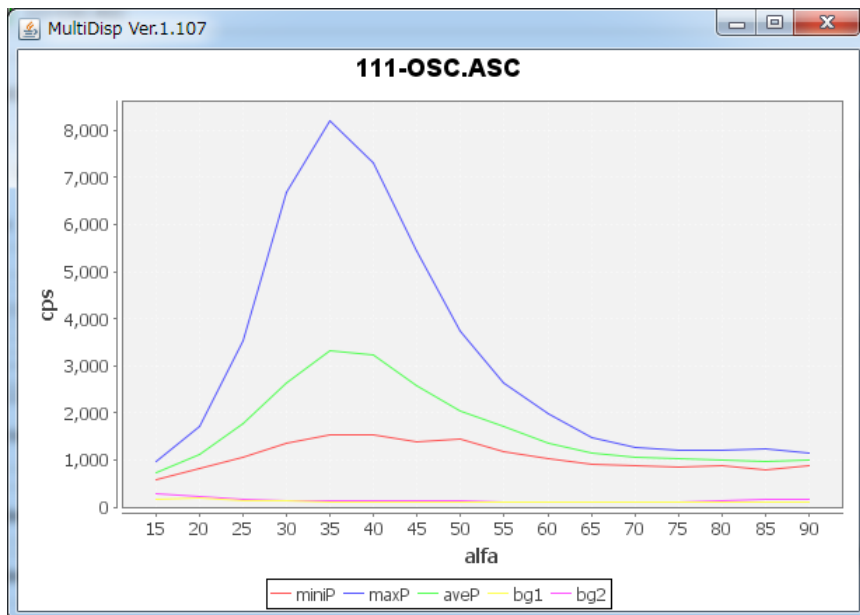


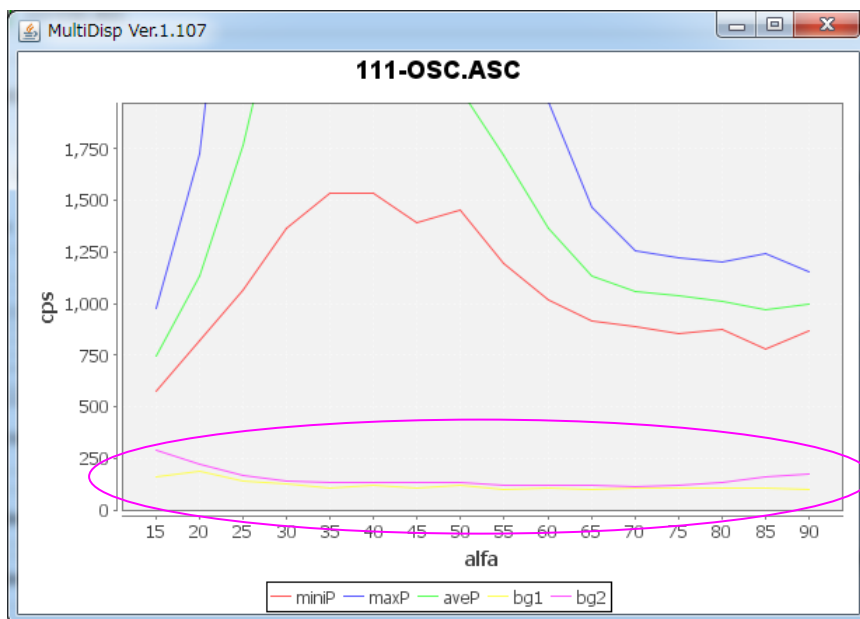
## 測定バックグラウンドデータの変更

六方晶などの極点測定では、反射  $2\theta$  が近接し、バックグラウンド測定が難しい。  
実際に測定したバックグラウンドデータを見ると、ピーク強度の影響を受けている事があります。  
ODFPoleFigure2 ソフトウェアで極点ピーク強度プロファイルとバックグラウンド強度プロファイルを確認すると、以下の様に極点図の中心と極点図の外側で、理論値と異なる事があります。



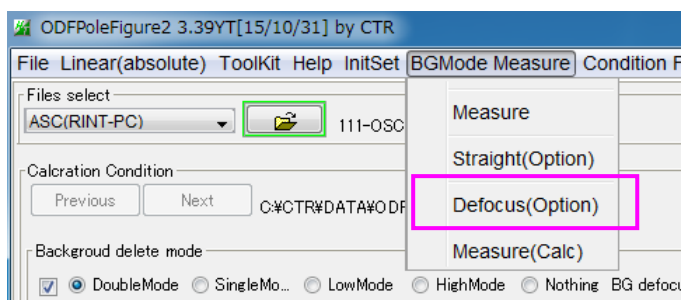
$\alpha$  軸毎のプロファイル MinP:ピーク最小、Maxp : ピーク最大、aveP ピーク平均  
Bg1:バックグラウンド 1、Bg2:バックグラウンド 2

拡大

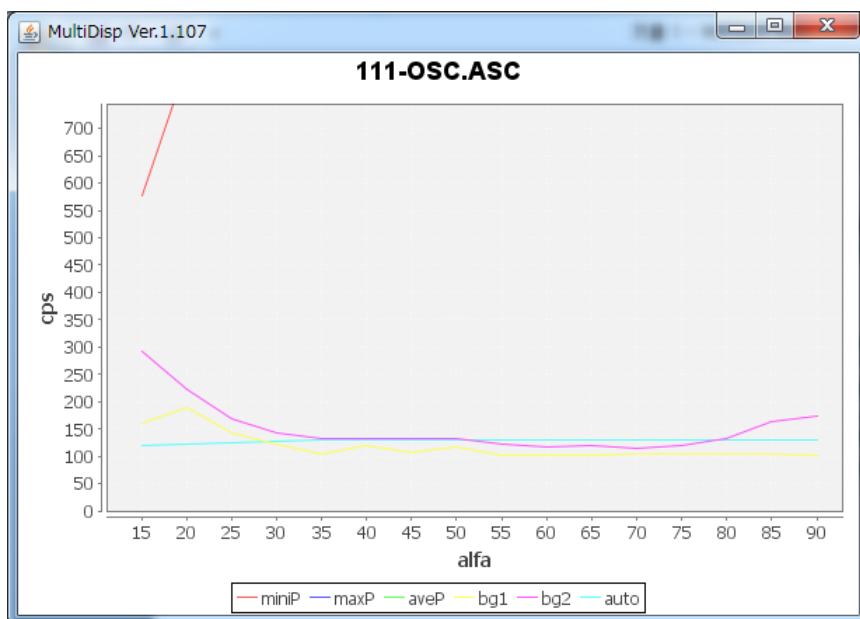


バックグラウンドプロファイルが異常である。  
このバックグラウンドの修正を行う。

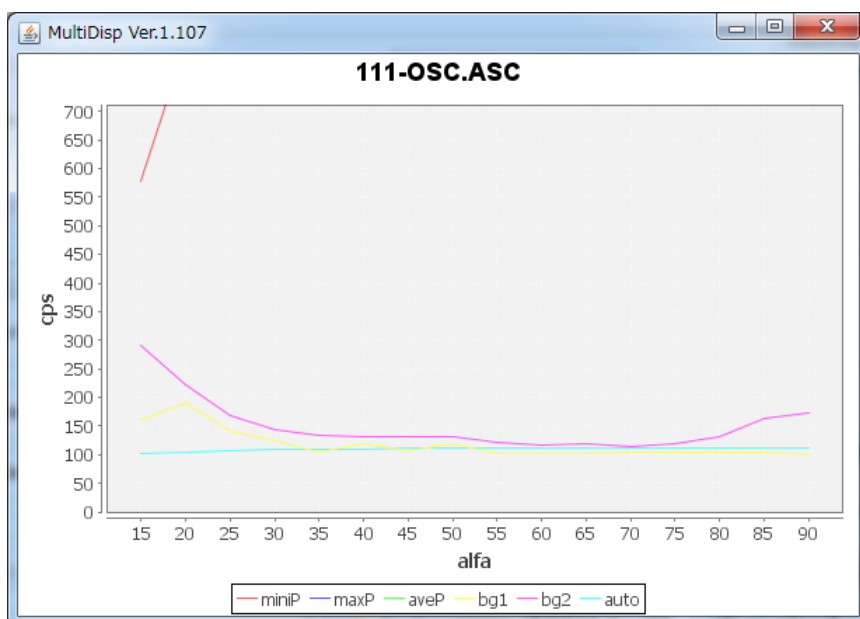
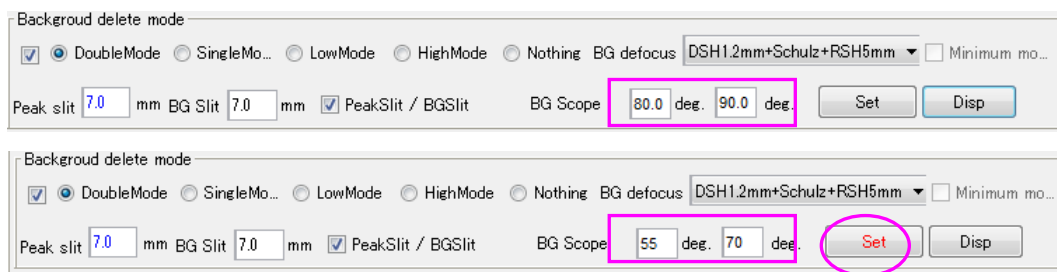
ODFPoleFigure2->BGMode->Defocus(Optional)を選択する。



プロファイルを確認する。



バックグラウンドの Fitting 位置を変更



80->90 の範囲を  
55->70 に変更して  
Set を行ってプロファイル  
を確認した。Auto が修正され  
たバックグラウンドプロファ  
イル